

# 牛久：学校周辺に見る自然

第20号 ひたち野うしく小(、ひたち野うしく中)

2020年5月18日発行

## < 晩春の校庭の植物 ～①樹木(合弁花類) >

こんにちは。14～18号で、新設のひたち野うしく中学校校庭の植物を紹介しました。今回は、隣で開校11年目を迎えたひたち野うしく小校庭の、4月末～5月の植物たちの様子をお届けします。小学生には難しいですが、中学生が学習する植物の分類の話もまじえて解説します。



オオムラサキツツジ(左：ツツジ科)と、花のアップ(右：合弁花)。

まずは、合弁花類の樹木から。オオムラサキツツジが咲いていました。花弁が5枚に見えますが、よく見るともとの方で全部つながっています。だから、落ちている花を見ると、ロートのような形をしていますね。このように、花弁がくっついて1枚になっている植物を「合弁花類」といいます。



ブルーベリー(左：ツツジ科)と、小さな釣り鐘のような花のアップ(右：合弁花)。

ブルーベリーも同じツツジ科の仲間、合弁花類。花弁がつながって、釣り鐘のようですね。

ライラックやリラともよばれるムラサキハシドイは、15号で紹介したキンモクセイと同じモクセイ科の仲間、花弁が4枚あるように見えますが、よく見るとやはりもとのところでくっついています。パッと見て判断せず、じっくり観察することが大事ですね。

【理科支援員：宮内】



ムラサキハシドイ(左：モクセイ科)と、花のアップ(右：合弁花)。別名でライラック、リラともよばれる。